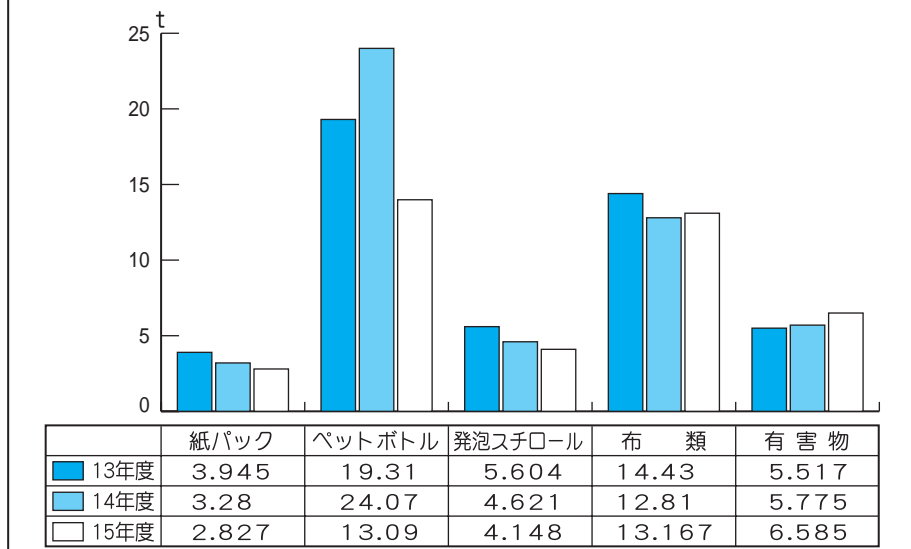


別表1の直接資源化の内訳

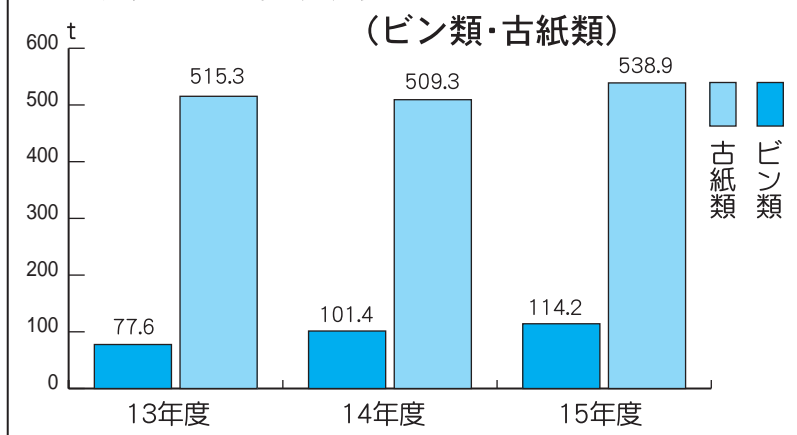
別表4



※紙パック、ペットボトル、発泡スチロールの回収率が下がったのは、1ヶ月間自宅に置いておくとかさばるので大手スーパーなどに設置している回収ボックスを利用しているためだと思われる。

別表1の直接資源化の内訳

別表5



最近増加傾向にあるのがリターナブルビンを不燃コンテナに入れる方が増加している事です。資源物回収日にビール瓶や一升瓶などを持ってきても引き取ってもらえないため、不燃コンテナに入れる方がいますが、南諏衛生センターではリターナブルビンの回収をしていませんので、学校の廃品回収日に出すか、販売店に出すようにしてください。

また、粗大ごみの回収日に収集できない電化製品「冷蔵庫」「洗濯機」「テレビ」「エアコン」「洗濯機」を出す人がいますが、町では回収しませんし、南諏衛生センターへ持ち込んでも受付できません。家電販売店で処分してもらってください。

平成16年富士見町ごみ収集計画表の「収集及び処理できないごみ」を確認し、何処に出したらいいかわからないときは、建設課生活環境係までお尋ねください。

④資源物：ビン類、古紙類、紙パック、ペットボトル、発泡スチロール、布類、有害物

月に1回各集落で資源物の回収を行っています。別表1の分別収集したごみの量が年々増えてきていることでもわかりますが、各集落で役員さんの指導のもと町民のみなさんにリサイクルの意識が浸透してきていることがわかります。

ビン類は南諏衛生センターから松川町のリサイクル業者に、古紙類・紙パック・布類・有害物は茅野市のリサイクル業者が一手に引き取り、種類ごとに区分けて、専門業者に渡っています。ペットボトルは南信リサイクルが、発泡スチロールは三信運輸がリサイクル資源として回収しています。

回収日に出せる紙類を分別し、可燃ごみを減らす努力が必要になります。広報6月号で紹介しました役場庁舎内のごみに対する取り組みも大きなテーマとして地球規模での環境保護が根底にあります。私たちは未来に、環境問題を先送りすることなく、住みよい地球自然環境を後世に残さなければなりません。個人の取り組みが住民の意識を変え、ひいては国がそして地球全体へと地道な取り組みが広がることを切に願っています。



6月6日町内一斉清掃では各集落で朝早くから道路傍に「ポイ捨て」された空き缶などを拾い集めていました